細かい違いに注目！トラム三兄弟



Portram（ポートラム）

ライトレール開業時に誕生した電車。
8 色のカラーをまとうカラフルな車体が特徴的。
いちばんのお兄ちゃん。



Centram（セントラム）

2009 年環状線開業時に誕生した電車。
白・黒・銀の 3 色があり、かっこいい。
現在はどこでも見ることができる。



Suntram（サントラム）

2010 年に誕生した電車。
上の 2 人と比べて体が小さく、見た目も 3 つの
車両をつなげて動くため、かわいい。

懐かしの路面電車も健在！



デ7000形電車

市電の中で最古参電車。
今では聞けるところも少ない吊掛駆動のモーター音が渋い。
特別なレトロ電車も。



デ 8000 形電車

1990 年代に登場した電車。
ある意味普通の路面電車。
市電の中では唯一扉が折り戸の電車。（他は引き戸）

富山の「市電」を
もっと知りたくなったらこちらから！

※使用している写真は許可を得て掲載しています



市電は富山の誇り。

元祖 LRT が新世界を拓く。
路面電車といえば他のまちを思い浮かべる方も多い。
しかし富山市にも「市電」が走っている。
2006 年 3 月には日本で初となる LRT 路線である富山ライトレールが開業。2020 年 3 月には悲願の南北接続を果たした。日本国内で初めてとなった元祖 LRT は更なる進化を遂げる。

富山市電 路線図
Toyama “Shiden” Map



富山港線（旧富山ライトレール）

2006 年に開業した日本で最初の LRT。
元々は JR 西日本のローカル線として、1 時間に 1 本の路線だったものが、開業後は 4 倍の 15 分に 1 本に。ポイントは路面電車から普通の電車に変わること。普通の電車よりも床の低いトラムが時速 60km を出す姿は国内ではあまり見られない。

環状線

2009年に開業した比較的新しい路線。わずか900mの開業区間ながらも、富山市の繁華街・総曲輪に富山駅から直接アクセスできるようになった。大手モール付近ではヨーロッパの雰囲気を漂わせる。富山港線区間とともに、LRT らしさを感じられる路線。

富山駅～南富山駅前

市電の本線であり、富山市でいちばんにぎわいが見られる路線。
日中でも 5 分おき（1 時間に 12 本）に電車が走っている忙しい路線。
レールの石畳区間も多く残されているので、前から見るのもおすすめ。

富山駅～富山大学前

ハイライトは全長 466m の富山大橋を疾走する場面。
そばを走る自動車とのデッドヒートは他の区間ではあまり見られない。
こちらも日中 10 分おきに電車が走る路線。